

シネマ通信

第19号(2025年9月13日)



パルテノペ ナポリの宝石

監督・脚本:パオロ・ソレンティーノ

出演:パルテノペ/セレステ・ダツラ・ポルタ(新人)

パルテノペ(73歳)/ステファニア・サンドレッリ

ジョン・チャーヴァー/ゲイリー・オールドマン

1950年、ナポリの裕福な家に生まれた美少女パルテノペは、優しい両親、最愛の兄、幼なじみ、周囲の愛を一身に受けてすくすくと育ちます。しかし、23歳の時に悲劇的な事件が起こり、美しいものしか知らなかった彼女の人生にも、暗雲が立ちこめます。

戸惑いながらも愛と自由を求め、懸命に前へと進むパルテノペの姿を、活気あふれるナポリの街と、太陽と海を舞台に、ノスタルジックに描いた映像の叙事詩。アルコール依存症のアメリカ人作家、この地域を牛耳るギャング、枢機卿、街角の女たち。強烈な個性をもつ多彩な登場人物の綾なす映像世界は圧巻。監督自身が影響を受けたと語るフェデリコ・フェリーニを彷彿とさせる“映画の魔力”で、観客を幻想と現実の狭間に誘います。

第19回鑑賞作品

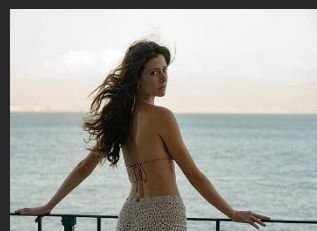
「オデュッセイア」の
人魚に因みパルテノペと
名付けられた美少女
その愛と成長の軌跡



About Them

「パルテノペ」は、「グレート・ビューティ/追憶のローマ」で第86回アカデミー外国語映画賞を受賞したパオロ・ソレンティーノ監督の最新作です。監督は1970年、ナポリの生まれ。その美貌と演技力で世界を魅了する本作のヒロイン:セレステ・ダツラ・ポルタもナポリ生まれ。「過剰と狂気に満ちている」と監督が評するこの街の空気感、全てを包み込む偉大なる自然は、まさにこの映画の魅力の必須要素といえるでしょう。

もう一つ特筆したいのが、制作の一角を成すサンローラン・プロダクション。皆さまおなじみのファッションブランド:サンローランが、映画制作を本格的な活動の一つとして採り入れるために作った子会社です。この新事業を牽引するサンローランのアートディレクター:アンソニー・ヴァッカレロは「これまで私にインスピレーションを与えてくれた素晴らしい映画作家たちと仕事をし、彼らのための場を提供したい」と語っています。映画界では全く初めての試み。彼が導くファッションの未来像と共鳴しながら、新しい映画表現が生まれそうです。



About Something

猛暑の日本から逃げ出し、真夏日の中国に行ってきました。といっても、北京、洛陽、西安(長安)を1週間で回る駆け足旅行です。これで最後と思った三度目の中国ですが、流石、自称5千年の歴史のパワーは凄い。また来たくなりそうな予感を胸に、帰国することになりました。

写真やテレビで十分と思っていた万里の長城も、実際に登ってみると石の一つ一つに呪力を感じ、洛陽では武則天を模したという龍門石窟の仏像の美しさに見惚れ、西安では三蔵法師が持ち帰った仏典を収めた塔から碁盤の目の街並みを眺め、長安の都に思いをはせました。しかし、今回の旅行の最大目的の兵馬俑では、あまりの人の多さに辟易。夏休みなので、歴史教育を兼ねて中国全土から家族連れが押しかけているそうです。期待以上に印象的だったのが、清朝の夏の離宮で西太后のお気に入りだった頤和園(いわえん)。愛らしいガラス絵を配した回廊や皇族の館が、美しい湖に面しています。そして驚いたのは、紫禁城とこの湖を運河でつなぎ、西太后は舟でこの離宮にやってきたとのこと。大陸の権力者は、スケールが違いますね。庭の池に小舟を浮かべ和歌を詠んでいた平安貴族のお遊びなんて、可愛いものです。湖の船着き場には高いアーチがかかり、西太后がお着きになるとそこから大きな提灯をぶら下げ、ご滞在を人々に知らせたそうです。

今回最大のサプライズは、ツアー会社が用意した昼食会場のすぐそばに、たまたま、「赤いコーリャン」「生きる」などで日本でも知られるチャン・イーモウ監督が所属する映画会社があり、その敷地内に何故か「安東食堂」があったことです。もちろん、フィルムをかたどったモニュメントがある前庭では、貴重な記念撮影。この偶然に驚喜したことで、日本語が上手で映画好きな現地ガイドさんと筆者が同好の士であることが判明。しばし、映画談議を楽しみました。目下、一番心残りなのが、反体制的な映画もあるイーモウ監督が、何故、2008年北京オリンピックの開会式・閉会式の総監督に選ばれたのか、このガイドさんに聞いてみなかったことです。監督の世界的な名声と実力が評価されたためとは思いますが、当時、日本人の私にも意外だったこの人選がいかんに行なわれたのか?本音トークの彼なら、きっと、面白い話を聞かせてくれたことでしょう。ともあれ、オリンピック組織委のトップが、日本のような超保守のご老体だったら、このようなご英断はあり得なかったように思います。

文責 安東桂子